

和光会会報No. 62

ー菱電サービス（菱サ）～三菱電機ビルテクノサービス（MELTEC）本社OB会ー

◆ MELTECの「新型コロナウイルス症への対策」

総務人事部長崎副部長より以下の情報を頂きました。

1. 新入社員の取り扱い

- ・例年、4/1付で入社式を執り行い2ヶ月半の集合研修を実施していましたが、本年度の研修生は教育センターに集まることなく、また入社式もなく4/1を迎え、以降、5月末までは在宅研修で知識習得に励みしました。在宅研修の教材は、4月分・5月分と分けて人開から各人に送付し、1週間単位の研修カリキュラムを設定し、カリキュラム内容によっては「レポート」や「テスト」を実施しながら、理解度の確認をしてきました。また教育センターの指導員も電話を通じて個別フォローを実施しました。
- ・研修生は6/1付で全社へ配属し、1週間程度は各支社で導入教育を実施した後、配属先の部・支店に着任しています。教育センターでの実機研修を実施していないため、各支社では配属後に教育センター（首都圏近隣の支社は日帰りでの研修を計画）や各地のテクニカルセンター、OJTの場面を通じて実機に触れる機会を作ることになります。
- ・通常であれば7月の下旬から、EBT 1年次 Part2が始まりますが、今年は宿泊をどのようにするかを含め「3つの密」を避け、感染防止を意識した集合研修の運営方法を検討している最中であり、それが決まり次第スタートさせる予定としています。研修生はその時に他支社配属となった同期と初めて顔を合わせることとなります。
- ・教育センターでは今期の研修計画を全て白紙に戻し、6/1以降日帰り研修（首都圏近隣支社の研修生研修〔日帰研修〕）から再スタートします。7/13以降段階的に宿泊可能者数を増やしながら、限定的に研修を実施する予定です。上期は宿泊最大108名（定員の24.3%）、下期は宿泊最大175名（定員の39.4%）の範囲で優先度を決めて研修を実施する予定にしています。

2. 現場作業について

- ・本社から「緊急事態宣言下における事業継続の基本的な考え方」を全社に示し、その中で「社員安全確保を前提とした顧客・現場対応の基本方針」を明示しました。
具体的には緊急事態宣言の発出前後に分け、「感染者の入院などが判明している施設」「感染者の入院等が不明な施設」「その他の施設」それぞれにおける、保守・工事・故障他業務内容ごとに対応方法の基本方針を明確にした上で、各現場が対応することとしました。
- ・現場サイドでは、事前にお客様と保守作業等実施の可否について打合せ・確認を実施することに労力を使い、特に病院や老人介護施設等については感染防止に向けた装備の必要性等も確認の必要があり苦労したようです（言い方を含めてかなり気を使ったとの声もありました）。
- ・全社的には、作業を延期したお客様はあったものの、首都圏では通常どおりの対応を希望されるお客様が多かったようです。

3. 間接者のワーク

- ・緊急事態宣言（4/7）が発出されるまでは、一定の業務が自宅で実施可能であれば在宅ワークとし、また休暇取得も併用していましたが、緊急事態宣言発出後は、全社員に対し「業務上真にやむを得ず出社を要する者以外は『在宅勤務』を命じる」とこととしました。在宅での勤務が「7時間45分に満たなくとも7時間45分の仕事をしたものとみなす」との超特例的取り扱いにし出社率の抑制を図りました。
ノートPCやインターネットアクセスが整備されている部門は在宅での勤務が進み、本社のある部門ではほとんど社員が出社していない日がある状況でもできました。ちなみに本社所属の方々の4月勤怠は、出社率38.5%（除く直行直帰者）の状況でした。

4. その他

- ・全国的にみても、コロナを理由とした解約・休止、値引き、工期変更等が発生しており、特に観光業に携わる顧客（ホテル等）からの要請が多いようです。完工高では 50 億円弱の影響（6/8 現在）が見込まれており、今後も影響額が拡大するのではないかと考えています。
- ・4/1 以降（6/30 現在）、当社・子会社社員で PCR を受診した者は 46 名。内、陽性判定は 3 名・結果待ち 2 名

◆ 会員の活動紹介

1年間の「京都暮らし」雑感

by 木瀬吉昭

夏の祇園祭や五山送り火、秋の紅葉、冬の節分、春の桜。そして 1 月までの観光客で賑わう街並みと 3 月以降ガラガラの観光地。

昨年 5 月の中旬から今年の 4 月まで、約 1 年間の「京都暮らし」をして京都の四季と生活を体験してきました。

最後はコロナ禍の影響で慌ただしい幕引きになってしまいましたが。

今回会報に掲載の機会を頂き、この体験の一端（雑感）をご紹介します。と思います。

主な内容は次の通りです。

1. 経緯 (①動機 ②住居 ③自宅はどうする)
2. 京都の魅力 (①四季の彩 ②街と山と川)
3. 発見とおすすめ
(①知って良かった ②京都の中華 ③早朝がおすすめ ④粽 [ちまき]
⑤門跡寺院 ⑥顔見世興行 ⑦眺望ポイント ⑧京大でランチ ⑨借景 ⑩鐘)
4. よもやま話 (①費用 ②飲食店 ③コロナ禍) ~最後に~

1. 経緯

<①動機>

もともと夫婦共々京都が好きで十数年前から年 1 回は訪れていましたが、時期はいつも 5 月のみ。現役時代の連続して休めるタイミングでの 5 月でした。

この為、行きたい場所はほぼ訪れてはいたけれど、“他の季節やいろいろな行事を知らない、観たことがない”ということで、思い立ったのが夫婦で 1 年間の「京都暮らし」。

これをリタイヤしたら是非実行しようと計画していた訳です。

<②住居>

住まいはマンスリーマンションを 12 ヶ月連続で借りました。

とりあえず家電製品や生活用品、通信環境はそろっていますので、持っていくものは衣類や自分達にとっての必需品のみ。足りないものがあれば 100 円ショップ等で調達です。

昔の社宅イメージの古い物件でしたが、“多少の不便も楽しむ”のも趣旨としました。

<③自宅（横浜）はどうする>

郵便物やご近所対応、車の維持等々もあり自宅を 1 年間通して空けておく訳にもいかないので、月 1 回は夫婦別々に入れ替わりで 1 週間程度ずつ戻りました。（月の半分はどちらかが自宅にいることになります。）

ただ、これだけで京都～横浜往復が 2 人で計 24 回発生することになるので、JR の「ジパング倶楽部」を利用し新幹線代は 3 割節約としました。

2. 京都の魅力

<①四季の彩>

京都では二十四節気や節句にちなんだ伝統行事や特別公開、イベントが必ずどこかであり、気候と共にそれらを通して季節の移り変わりが日常の中で体感できます。

◇彩という点では、6 月の青もみじや紫陽花、11 月頃の紅葉、2 月の梅と椿、春の桜。

◇大きな行事では、5月の葵祭、6月末の夏越祓(なごしのはらえ)、7月の祇園祭、8月の五山の送り火、10 月の時代祭、年末年始行事、2月の節分 等々。

◇風物詩では、鴨川の川床・納涼床(5～9 月)、北野天満宮や東寺で毎月開かれる市 等。

「京都暮らし」の良い点は、これらを連続で満喫できたことです。

例えば、祇園祭は7月まるまる1ヶ月間ありますが、最初から最後までいろいろな行事を観て体験することができました。

市(いち)も結構行きました。露店が立ち並び、観光と伝統と日常が混ざった京都ならではの風情です。

秋の紅葉や春の桜も、場所により見頃が 1～2 週間ズレてますので、天候と相談しながらいろいろなところを観ることができました。

京都の四季は気候と行事が重なり、実に多彩な表情で魅せてくれることを実感しました。

今回の様な長期間はもうできませんが、これからも京都を訪れるときには季節のポイントを決めて、短くても 5～6 日の日程が欲しいところです。



↑ 瑠璃光院の青もみじ 6 月

祇園祭の山鉾巡
行 7 月→



↑ 毘沙門堂の紅葉 11 月



← 醍醐寺の桜 3 月

<②街と山と川>

京都の地形としての魅力も大きいです。街の大きさと山と川の配置が絶妙です。

京都の街は基盤の目ですが、主要道路は縦(南北) 8 本と横(東西) 11 本。すべてに名前がついています。

東大路、北大路、西大路、九条通に囲まれた内側が洛中、外側が洛外と言われています。

山は東に比叡山と東山(& 稻荷山)、西に嵐山(& 小倉山)、北に北山山系(& 鞍馬山)。

川は東に鴨川、西に桂川。

これらの位置関係が頭に入っていると街全体の俯瞰(ふかん)図がイメージできます。

これに鉄道の路線図も重なると完璧です。(鉄道は地下鉄・JR・阪急・京阪・ローカルの嵐電・叡電。)

こうなると、いつでもどこでも行こう行けるという気になり、京都の魅力が倍増します。

但し移動手段はあくまでもバスか電車、あるいは自転車。タクシーは連れていかれるだけで街の印象が残りません。

神社仏閣はもとより、街歩きでも昔からの地名や名称が残っているので、そのまま歴史探索になり楽しめます。

更に、比叡山&東山と鴨川、嵐山と桂川、これがセットの風景もすばらしい。横浜にはない景色なので大好きです。

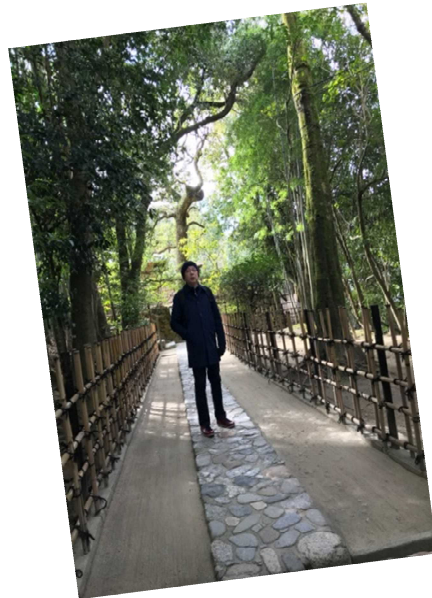
特に鴨川は、観光客は橋から眺めるがほとんどですが、川岸を歩くのがベスト。水面に近くマイナスイオンを感じます。

出町柳近く「鴨川デルタ」でのお弁当はとても気持ちいいです。トンビに獲られないよう注意が必要ですが。

こうして今では、ニュースやドラマで京都の街並みや風景が映ると、だいたいどのあたりか見当がつきます。実に楽しい。



散策（白川）



散策（一条寺/詩仙堂付近）

鴨川デルタと遠くに比叡山



3. 発見とおすすめ

ここでは、体験や発見とガイドを思いつくままにいくつか紹介します

<①知って良かった>

「京都暮らし」のメリットとして、通常観光と違いタイミングよくフレキシブルに行動できるということがあります。

これによって見逃しそうなことの発見がいくつもありませんでしたが、その中で印象に残った“知って良かった”例を2つ紹介します。

◇千本釈迦堂（大報恩寺）の大根だき

前日にローカルニュースで知り、日限定なので早速翌朝出向く。小さい寺です。

無病息災を願い檀家が炊き出しをした大根を頂く地元では伝統の行事。

大根は忘れられないほどとても美味しかった。

せっかくの機会なので御本尊様をお詣りしていくと、なんと本堂は国宝！

京都では一番古く（700年以上）、応仁の乱で唯一焼けなかった本堂との事。

こんなところに国宝。いや恐れ入りました。

◇城南宮の梅

これも前日にローカルニュースで見頃と知り、早速観賞に。

名前すら知らなかった神社ですが、これまた地元では梅の名所で有名との事。
枝垂れ梅（紅白）が満開で、その数といい圧巻。こんな梅、観たことない。
北野天満宮や九州の太宰府天満宮の梅の比ではない。（主観です）
知る人ぞ知る梅の名所。いやいや恐れ入りました。



城南宮の梅（ほんの一部）

<②京都の中華>

京都には独特のあっさりした中華の系譜（の店）があります。

京都はラーメンや餃子の激戦区ですが、それとは別。また一般の中華とも違う味。

もともと芸子さんや舞子さんがお座敷に“にょい”を持ち込まないよう祇園などの花街（かがい）で育った中華で、だしの取り方も違う、油やにんにくは控えめ、香辛料も少ないあっさり中華です。

京都の人なら知っている。マニアもいるようです。一度お試しあれ。

<③朝がおすすめ>

コロナの影響が出る前までは、どこもかしこも観光客や修学旅行生でいっぱい観光スポット。

しかし早朝開門一番の 30～40 分程なら相当空いていてゆっくり観られます。

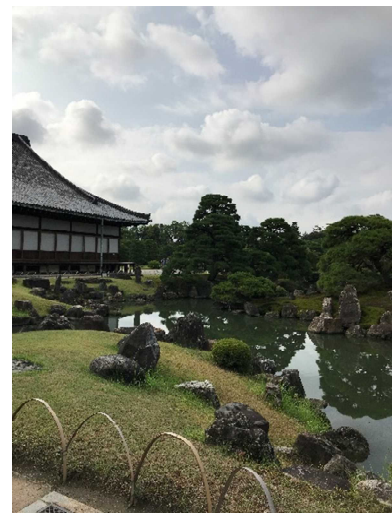
特に夏期だと通常より早く 8 時半頃から入れるところが多い。

私の体験では、あの金閣寺、銀閣寺や二条城他も誰一人いない独占状態の境内や庭内を満喫できました。

早起きは三文の徳です。



早朝開門後の
まだ観光客のいない
←銀閣寺 と
二条城の庭→



<④粽（ちまき）>

街中を歩いていると、民家や店の玄関に細長い三角形の笹でできた粽（ちまき）が飾ってあるのをよく目にし

ます。

この粽、食べ物ではなく厄病・災難除け、商売繁盛等のお守りです。

祇園祭の名物で毎年祭りの時だけ山鉦のお会所で購入します。場所によっては長蛇の列ができます。

街中で意識して見ると結構飾ってありますよ。

因みに祇園祭は昨年が 1150 年目でした。伝統と習慣の長さが違う！



← 聖護院門跡

ちょうど節分の時で、山伏姿の僧がホラ貝を吹き鳴らして行事の合図をしている。

聖護院は江戸時代に御所が火災にあった際には、仮御所として天皇が執務を行った。

<⑥顔見世興行>

どの都市でも 12 月になるとクリスマス飾りやイルミネーションでにぎやかになりますが、京都ではほとんど感じませんでした。

クリスマス感があるのはお店の中やどこかで流れる BGM ぐらい。

12 月の京都中心部の風物詩は、なんといっても京都南座の歌舞伎「吉例顔見世興行」。

四条通りや祇園界隈には一斉に顔見世興行の旗や幕が飾られ、これで師走気分になる。

実に京都らしくて良い。

因みに、南座でこの顔見世興行も観てきました。



南座「吉例顔見世興行」の看板 →

<⑦眺望ポイント>

京都で街の眺望を求めるとなると普通まずは京都タワーに上るでしょう。あるいは清水寺の舞台も有名ですね。

でも、なんといっても「將軍塚青龍殿（&隣の展望台）」が一番、断然です。

場所は東山の山頂付近にあります。知る人ぞ知るポイントで市街全域はもちろん、空気が澄んでいれば大阪のあべのハルカスも見えとか。

逆に街中からもよく見れば建物が目に付くので、東山を仰ぐたびに「あそこに行ったぞ」と景色を思い出します。おすすめです。

<⑧京大でランチ>

京大（吉田キャンパス）正門から入ってすぐ、時計台の建物の中にフレンチレストランがあります。誰でも入れます。雰囲気もよいです。

学生諸君は値段が高い（それなり）ので、ほとんどいません。学食の方へ。

ランチメニューもあり、お客さんは大学関係者（外人含む）やマダムなどがメインです。

食事の前後に構内を歩いたり売店でお土産を買うのも一興。天下の京都大学ですから。

さらに隣の吉田神社（有名処）へ参拝も。

話の種に行ってみてはいかがでしょうか。

因みに同志社大学にも同様にレストランがありますが、私は京大の方が断然好きです。

<⑨借景>

枯山水の庭は数多くありますが、比叡山を借景（遠くの背景）にした庭はここ「正伝寺」の庭だけでしょう。

歩いていると少し不安になるようなゴルフ場（京都ゴルフ倶楽部）の中？を通り過ぎた奥にある小さな禅寺です。

参道からして山寺然としていて、寺に着くと受付では木札を叩くと人が出てきます。

観光客はほとんどいないので、方丈の縁側にずっと座って眺めていられます。

「獅子の児渡し」と称された作りの庭です。

かのデヴィッド・ボウイも密かにお気に入りだったとか。

比叡山が借景なので晴れた日がベストですが、重要文化財の襖絵もあり雰囲気のある寺ですので、機会があれば是非！

<⑩鐘>

お寺の本堂の中に置いてある鐘。お坊さんがお経を読み上げるとき木魚といっしょにならず鐘です。

けい子（けいす）と言うらしいですが、これを私達参拝者が自由に鳴らすことができるお寺が結構あります。

御本尊の前でさい銭箱等の横に、叩く棒（倍：バイと言うらしい）と一緒に置いてあれば、だいたい鳴らしてもよさそうです。（棒がないところは鐘があってもNGです。）

あるお寺で体験してから、今では他のお寺でも鳴らせないと鐘（けいす）と棒（ばい）を必ず探し、いくつかのお寺で鳴らしてきました。

代表的なお寺では、あの清水寺があります。

清水の舞台に面している本堂の中へ靴を脱いで上がると、大きな鐘が右側に置いてあり、誰でも拝んでから鳴らせます。重量感のあるいい音です。

因みに鐘の鳴らし方ですが、棒を上から振り下ろして叩くとあまりいい音が鳴りません。

棒を下からしゃくり上げるようにして鐘の淵を叩くととても響きのいい音が鳴ります。これは教わりました。

お寺の本堂にお詣りする機会があったら、是非探して試して下さい。とても気持ちのいいものです。

一方、外にある釣り鐘（梵鐘：ぼんしょう）でいつでも自由につけるところはそうそうありません。

私が唯一知っているのは青蓮院の庭にある釣り鐘で「ご自由に」と書いてあります。これも周囲に響き渡り気持ちのいいものです。

4. よもやま話

<①費用>

今回の概算費用を紹介します。

◇賃料

マンスリーマンションは築40年超2LDK（49㎡）の部屋

賃料計：15万円/月×11ヶ月＋7万円（2週分）＝172万円

〔内訳〕 賃料12万円/月（2千円/日人×2人×30日）、

電気ガス水道（固定料金）計3万円/月（1千円/日×30日）

◇交通費（新幹線）

1 回/月の往復新幹線代（京都～横浜）ジパング倶楽部活用
約 18 千円/往復×12 回×2 人＝計 約 43 万円

◇交通費（観光、生活）

バス・地下鉄・JR・私鉄（タクシーは殆ど使わず）
約 18 千円/月（9 千円/月×2 人）×11 ヶ月＝計 約 20 万円

◇観光（拝観料・入館料他）

概算計：約 15 万円 [内訳] 平均 5 百円/人回×2 人+α（特別公開、乗船、他）

* お賽銭は含まれません。気持ちなので。

<②飲食店>

食事の基本は自炊でしたが、昼食や時々の夕食は外食でいろいろな店に行きました。

京都は観光地ということもあり、人口の割に飲食店の数が多いです。

和食のイメージが強いですが、いやいや洋や中、肉系も相当多いという印象です。

地元の人たちが行く店や居酒屋は普通の値段ですが、繁華街ではやはり値段が高くパリやロンドンと同じくらいとの私感です。

また、☆付人気の店も多く、夜は行ける値段でないのでもっぱらランチでしたが、予約は早めでないと無理です。

とは言いながら、それでも夜の先斗町（ぼんとちょう）は結構通いました。

そこで 35 年やっている行きつけのバーのマスターによれば、昨今は店の入れ替わりも激しく、街の雰囲気が変わってきているとのことでした。

<③コロナ禍>

コロナ禍の影響で 2 月下旬あたりから観光客が目に見えて減り始め、3 月中旬には外国人をほとんど見なくなり、その後日本人観光客もいなくなりました。

当初は中国からの観光客が減り、「京都はこのくらいがちょうどいい」などと言う地元の人もありましたが、その後あつという間にガラガラです。

人っ子ひとりいない清水寺周辺の二年坂・三年坂を初めて見ました。そうすると 1 月までのあの混雑と喧騒が懐かしい。

マンションから少し離れたところに、観光バスの車庫・事務所が見えます。

朝早くバスが出発し車庫は昼間空っぽ、夕方順々に帰ってくるという光景を毎日見ていましたが、3 月以降車庫はバスがいつも満杯、全く動きません。

バスやタクシー、前述の飲食店ばかりでなく、ホテル・宿泊施設も厳しいと思います。

何しろオリンピック需要も見込み新築や増築のホテルがいくつも工事してましたから。

落ち着いたたら、応援の意味も含めてまた懐かしい街並みを観に出かけたいと思います。



←誰もいない二年坂

ガラガラの祇園四条通→



～最後に～

今回の「京都暮らし」は、タイミングが何とか間に合ったというのが今の実感です。

ひとつは、やはり足腰が健康なうちに実行できてよかったと思います。

外出時の歩数は8千歩～1万歩以上/日があたりまえでした。最高は2万歩です。

(おかげで中性脂肪値が半減しました。今はまた増えていると思いますが。)

更に京都を起点に大阪、奈良、兵庫、広島(宮島)、福岡(大宰府)、金沢へも足をのばしました。これも体力あってこそ。

一方、コロナ禍の影響で今年(2020年)はいろいろな伝統行事も中止になり、今後も制約が多くなることが予想されます。こんな時にはなかなか実行できなかったでしょう。

健康体力と世情のバランスを考えると今回やってよかったと思います。

とは言え、3月以降はかなり行動を自粛しましたので、やり残し感もあります。

次に繋げる理由ができたので、これからも訪れたいと思います。

話すことは個々にはまだまだ山ほどありますが、まずは「京都暮らし」体験の雑感ということで、このくらいに致します。

実は他にも“がっかり”や“残念な発見”も結構ありますが、皆さんに文字で公にするには憚(はばか)られるので、呑んだ時以外は話しません。悪しからず。

◆ 新入会員紹介

2020年に入会された方々は4名です。自己紹介していただきました。

＜楠本 和生さん＞



定年後、品本に7年間シニアでお世話になり、3月末で委嘱満了退職いたしました。

特別新しい事は行っていませんが、5年前に市の農園30㎡を借用して、家庭菜園にチャレンジしております。一応農薬です。虫、ナメクジと格闘、玉砕している状況です。

他には、日帰りバス旅行や山車祭りに出掛け写真を楽しんでおります。

早くコロナ対策が確立し出かけられる日を心待ちにしております。

最近一番の出来事は、35歳の息子が結婚したことです。3月中旬で緊急事態宣言前の滑り込みで決行できたこと嬉しく思

っております。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

＜足立 正一さん＞

昭和56年に入社し、この3月に会社を卒業しました足立正一です。

仕事は総務・人事を主に担当し、3支社で計14年、本社4部門で計25年勤めさせて頂きました。

4月以降は、在職中はかななかった海外・国内の長期旅行や趣味の山歩きも色々予定はしていましたが、ご承知のとおり「ステイホーム」となり、もっぱら近所の散歩や自宅での筋トレで身体がなまらないよう、来るべき「復活の日」に備えている今日この頃です。

お世話になりました諸先輩に直接お会い出来ます日を心待ちにしております。



<石井 淳一さん>



この度、和光会に入会させていただいた石井です。

3 月末に退職、4 月に再雇用され、26 年振りに教育センターで勤務しております。

昭和 56 年に入社し、九州支社総務部、教育センター、本社のいくつかの事業本部の業務部で勤務した後、関西支社と本社の総務部、人事部、昇降機新設事業本部、監査部と、最後の 10 年間は異動 5 回という得難い経験をしました。

4～5 月は新型コロナのため研修生集合教育が中止となり、在宅勤務が続きました。

満足に外出もできなかった間、家で家事手伝いをするのが日課となり、完全リタイアに向け一歩踏み出したところです。

どうかこれからよろしくお願いいたします。

<徳田 敏己さん>

令和 2 年 3 月に定年退職しました徳田です。

昭和 57 年に総合生産技術センターの総務部に配属になり、町屋を初めての職場とし、三場所対抗運動会・町屋のビアガーデン等、今はなきイベントを体験し、その後中国支社→東京支社→本社→菱サ BW→渋谷支店（業務→昇降機営業→冷熱営業）→RSC→F 事本（MTB→F 相談室）と転々と異動するなか、現在は技術系統のく～るリモート点検契約の空調機変調解析業務を行っています。

今後の余暇として、ビートルズを更に深く極めようかと思い、様々な楽しみ方のある中の一つである、演じる（ライブ）から世界のトリュビュートバンドのライブにでも出掛けようかと計画中です。



◆ MELTEC 情報

2020 年 4 月 1 日現在の MELTEC データです。過去 3 年間で比較してみました。

No	項目	時点	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
1	社員数	4/1	9,496 名	9,757 名	10,057 名	10,173 名
2	事業所数	現在	277 ヶ所	277 ヶ所	275 ヶ所	274 ヶ所
3	昇降機保守契約台数	3/31	248 千台	249 千台	249 千台	250 千台
	冷熱保守契約台数	現在	433 千台	440 千台	438 千台	435 千台
	遠隔管理サービス(メルセ)件数		18 千件	17 千件	16.6 千件	16 千件
	ビル設備保守件数		30 千件	29 千件	26 千件	25 千件

◆ 訃報ご報告

会員の訃報情報がありました。

ここに哀悼の意を表し、謹んでご連絡申し上げます。

日比 俊二氏（2020 年 1 月 1 日ご逝去）（享年 86 歳）

なお、故日比 俊二氏は、1957 年（昭和 32 年）4 月に入社され、東京工場冷機係、冷本技、大阪支店冷熱部 部長、本人 教育センター所長、開発調査室を歴任された後、

（財）冷熱空調設備工業会に出向され、その後、（社）海外貿易開発協会専門家として 5 年間タイで活躍されていました。

平成 6 年 3 月に退社されました。



◆ 事務局より

- (1) 今号では、木瀬吉昭氏より昨年約 1 年間を過ごされた京都の暮らしぶりについて投稿いただきました。普段の観光ニュースでは伺い知れない京都の様子が分かり大変参考になりました。

また、新入会員 4 名の自己紹介を掲載しました。

次の総会でお会いする時を楽しみにしております。

- (2) 新型コロナウイルス対策による自粛要請は、2020 年 6 月 19 日（金）より最後段階である「県を跨ぐ移動」が緩和され、プロ野球やサッカー（J リーグ）で無観客ではありますが試合が再開されました。

また、7 月 10 日（金）・11 日（土）より 5000 人を上限にして観客を入れての観戦が始まりました。

しかし、東京都では感染者数が 200 人を越える日が続いており感染拡大が懸念されています。秋頃から第 2 波が始まるかもとのマスコミ報道がありましたが、それより前にこのままズルズルと感染者が増えるのではないかと危惧されます。

皆様も「自らの命は自ら守る」を信条にして頂き、次に会える日まで、元気でお過ごし下さい。

- (3) 何点かの注意事項があります。

- ① 「和光会会員名簿は住所・メールアドレス等が載っているので個人情報保護の観点から送付するのは好ましくない。」と会社より申し入れがあり現在は送付しておりません。ご了承下さい。

- ② 和光会の連絡・問い合わせ窓口について

会社（総務人事部）の全面的な支援により、OB 会事務作業（会員との連絡・通知、1194・カレンダーの送付等）を MTB に委託していただいております、MTB 側の担当は MTB 本社の総務・人事支援部（部長：田辺 直樹）に担当していただいております。

担当：吉本 誉宏、佐々木 敏行、石川 文美代

電話：03-3803-8865（代表）

FAX：03-3803-8875

E-mail：meltec-OB-wakokai@mtb.ssg.meltec.co.jp

住所変更等通常の連絡・問い合わせは MTB の上記和光会担当か、和光会事務局（佐々木憲一）で済むと思いますが、念のために、会社（総務人事部）の窓口についても記載します。

担当：長崎 俊彦（総務人事部副部長）

電話：03-5810-5300（代表） 03-5810-5398（ダイヤルイン）

FAX：03-5810-5501

E-mail：nagasaki.toshima@meltec.co.jp

- ③ **2020 年度より会費納入は毎年になりました。**

会報 No. 6 1 号でご連絡したように今年度より「年会費 2,000 円」で毎年入金としました。

振込がまだの方は次の口座に振り込みを賜りたくよろしくお願い申し上げます。

振込手数料については皆様にて負担をお願いします。

振込機関：郵便局

口座番号：00100-7

口座記号：650896

加入者名：和光会

- ④ E-MAIL 会員各位へは INFORMATION をお送りしておりますが、最近宛先無しでの不達が増えておりますので、**メールアドレスの変更時は速やかにご連絡**をお願いいたします。
- ⑤ 「和光会会報」・「1194」・カレンダーなどを会員宛送付しておりますが、宛所不在で戻ってくる場合がありますので、**転居・住所表示変更等の場合は速やかにご連絡**をお願いいたします。
- ⑥ パソコンをお持ちの方は、会報や総会写真を和光会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

(H/P アドレス) <http://meltecwakokai.g2.xrea.com/>

皆様の日頃の活動やグループ活動などのお便り・投稿をよろしく願います。
できれば原稿はWordで作成頂き、写真などを数点添えてメールでの投稿をお待ちしております。

048-481-0901

Sasaki.ken-ichi@jade.dti.ne.jp

2020-7-15 和光会事務局 佐々木 憲一